

## リアルタイムOS HI1000/4 ご使用上のお願い

H8SXファミリ用 リアルタイムOS HI1000/4 の使用上の注意事項を連絡します。

- スタック使用量の算出に関する注意事項
- C言語用サンプルプログラムに関する注意事項

### 1. スタック使用量の算出に関する注意事項

#### 1.1 該当製品

HI1000/4 V1.0.05, V1.0.06 および V.1.01 Release 00

#### 1.2 ユーザーズマニュアル訂正

ユーザーズマニュアル「付録C 作業領域サイズの算出」に掲載している各スタック使用量の表中の計算式を以下の通り訂正します。

ユーザーズマニュアルは、こちらで参照できます。

表見出し	訂正内容
表C-5 個々のタスクのスタック使用量	下記(1)および(3)を参照
表C-6 個々の割込みハンドラのスタック使用量	下記(1)および(3)を参照
表C-7 タイマ割込みのスタック使用量	下記(1),(3)および(5)を参照
表C-8 カーネルのスタック使用量	下記(1)および(3)を参照
表C-9 初期化ルーチンのスタック使用量	下記(2)および(3)を参照

(1) 割込み用スタックサイズ

変更前:

-----  
-----  
10 × LOWINTNST(注1) + 6 × UPPINTNST(注2)  
(割込み制御モード2使用時)  
8 × LOWINTNST(注1) + 4 × UPPINTNST(注2) (割  
込み制御モード0使用時)  
-----  
-----

変更後:

-----  
-----  
10 × LOWINTNST(注1) + 10 × UPPINTNST(注2)  
(割込み制御モード2使用時)  
8 × LOWINTNST(注1) + 8 × UPPINTNST(注2) (割  
込み制御モード0使用時)  
-----  
-----

(2) 割込み用スタックサイズ

変更前:

-----  
-----  
6 × UPPINTNST(注2) (割込み制御モード2使用時)  
4 × UPPINTNST(注2) (割込み制御モード0使用時)  
-----  
-----

変更後:

-----  
-----  
10 × UPPINTNST(注2) (割込み制御モード2使用時)  
8 × UPPINTNST(注2) (割込み制御モード0使用時)  
-----  
-----

(3) 未定義割込み用スタックサイズ

変更前:

-----  
-----  
8  
-----  
-----

変更後:

-----  
-----  
10  
-----  
-----

(4) OSが使用するスタックサイズ

変更前:

-----  
-----  
22 (ターゲットトレース、ツールトレースを使用する  
場合)  
16 (ターゲットトレース(短縮)、ツールトレース(短  
縮)を使用する場合)  
-----  
-----

変更後:

-----  
-----  
26 (ターゲットトレース、ツールトレースを使用する  
場合)  
20 (ターゲットトレース(短縮)、ツールトレース(短  
縮)を使用する場合)  
-----  
-----

(5) オブジェクト操作用スタックサイズ

新規追加:

-----  
-----  
76 (デバッグ機能のオブジェクト操作機能を使用する  
場合必要)  
-----  
-----

-----  
(注1) カーネル割込みマスクレベル以下の割込みのネスト数

(注2) カーネル割込みマスクレベルより高い割込み(NMIを含む)のネスト数

- 1.3 **kernel\_setup.srcファイルのスタックサイズの定義について**  
コンフィギュレータが生成した構築ファイルのうち kernel\_setup.srcファイルの 39行目および41行目をそれぞれ表C-8(カーネルのスタック使用量)および 表C-10(トレース機能のスタック使用量)で求めたスタックサイズに変更してください。

kernel\_setup.srcファイル例 :

```
-----  
.....  
OSSTKSIZ: .assign 20+(10*2)+(6*1)+8 →表C-8で求めたサイズに変更  
TRCSTKSIZ: .assign 22+(6*1)+8 →表C-10で求めたサイズに変更  
.....  
-----
```

- 1.4 **恒久対策**  
コンフィギュレータによって自動生成されるkernel\_setup.srcファイルについては次期バージョンで改修する予定です。

## 2. C言語用サンプルプログラムに関する注意事項

- 2.1 **該当製品**  
HI1000/4 V1.0.05, V1.0.06 および V.1.01 Release 00

- 2.2 **内容**  
以下のC言語用サンプルプログラムは正常に動作しません。使用しないようにしてください。

- o 1650cpu.c
- o 1650cpu.h
- o 1650tmrdrv.c
- o 1650tmrdrv.h

## 2.3 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

---

### **[免責事項]**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.